

東燃ゼネラル石油株式会社

2008年1-3月期業績および中間・年間予想

2008年5月15日

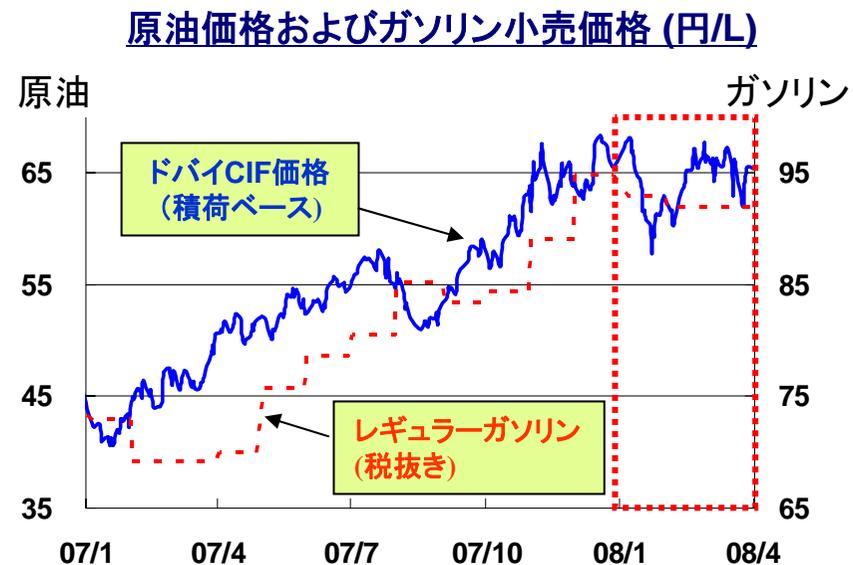
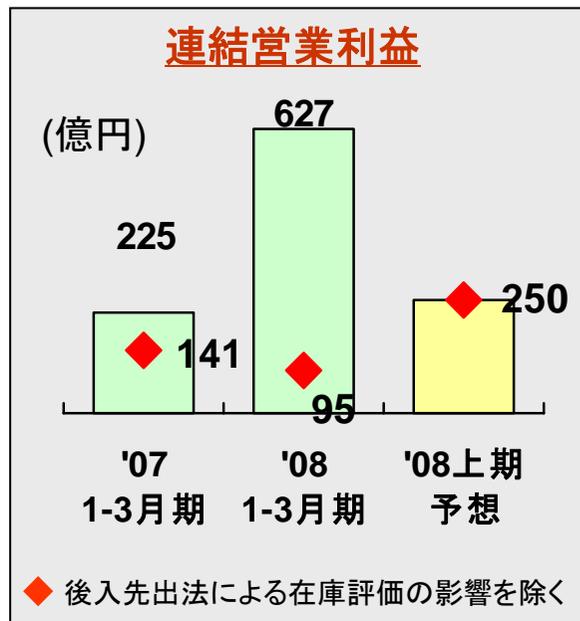


見通しに関する注意事項

この資料に記載されている当社および当社グループ各社の現在の計画、見通しに関する事項は、日本および世界経済の動向、原油価格、円ドルの為替レート、需給の変動に大きく左右される業界の競争状況などにより影響を受けます。これらの影響により、実際の業績は本資料で記載した見通しとは大きく異なる可能性があることにご留意ください。

業績ハイライト

- 2008年1-3月期の営業利益は在庫評価益を含み前年同期比で大幅に改善
 - » 在庫評価の影響を除いた、石油部門における当社グロスマーシンの改善
 - 南西石油(株)の売却に伴う同社の在庫含み益の実現
 - 業界全体の国内石油製品需要が減少する中で、原油価格上昇分の製品販売価格への反映は不十分
 - » 石油化学部門が引き続き連結利益に貢献
 - 基礎石油化学製品の当社グロスマージンは昨年より減少
 - » 主として一時的な操業上の理由により、多額の在庫評価益を計上
- 業績および配当の見通しは変更せず



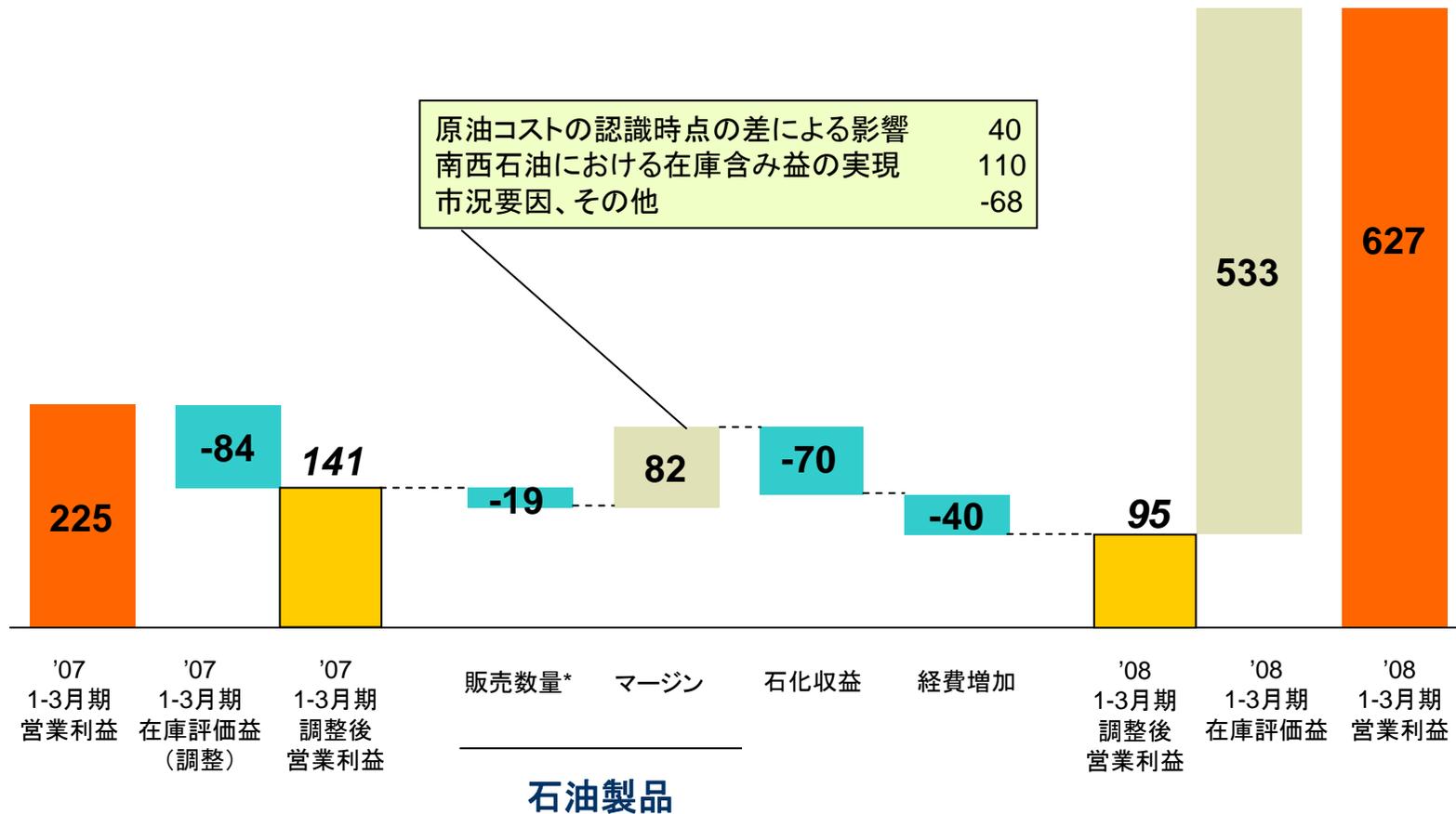
損益計算書 [1-3月期、連結]

(億円)	'07 1-3月期	'08 1-3月期	増減
売上高	7,088	8,775	1,686
営業利益	225	627	402
経常利益	236	688	452
特別損益	0	-1	-1
当期純利益	144	406	263
在庫評価の調整	-84	-533	-449
調整後営業利益	141	95	-47
石油部門 他	-27	2	28
石油化学部門	168	93	-75
<参考>石油部門に含まれる原油コストの 認識時点の違いによる影響	-20	20	

営業利益の要因分析

[1-3月期連結業績、前年同期比較]

(億円)



* 主要製品を基準とする(5ページ参照)

販売数量/稼働率

- 業界全体の需要動向を反映して主要燃料油の国内販売数量が前年同期比で減少
- 輸出の機会を含め、収益性重視の販売に注力
 - » ガソリンと中間留分(ジェット燃料、軽油、A重油)の輸出は前年同期の2倍以上となり、国内の販売減を一部相殺
- 前年1-3月期の和歌山工場でのプラント定期修理に伴う減少の反動により、芳香族製品の販売が大幅に増加

石油製品*		'07年1-3月期	'08年1-3月期	増減	業界増減
(千KL)					
日本国内での販売	ガソリン	2,793	2,512	-10.1%	-5.3%
	灯油	1,310	1,155	-11.9%	-3.4%
	軽油	986	778	-21.1%	-4.3%
	A重油	920	754	-18.0%	-4.7%
	C重油	595	461	-22.4%	31.3%
	主要5油種合計	6,604	5,661	-14.3%	-0.2%
	LPGその他	739	756	+2.3%	
	小計	7,343	6,417	-12.6%	
	輸出**	732	1,287	+75.8%	
	その他***	1,281	1,460	+14.0%	
石油製品合計	9,356	9,164	-2.1%		
注記: *: 連結ベース、バーターを除く **: 保税販売を除く ***: 潤滑油、原油、国内のエクソンモービルグループ内の転送取引などを含む					
石油化学製品 (連結ベース)					
(千トン)					
オレフィン類他(東燃化学分)	471	475	0.7%		
芳香族類他(東燃ゼネラル石油分)	171	230	34.9%		
石油化学製品合計	642	705	9.8%		

設備稼働率(常圧蒸留装置ベース、単体/連結) 86%/79% 82%/75%

88%

業績予想 [連結]

■ 2月に発表した2008年の業績予想に変更なし

» ただし、業績予想は以下を含む諸要因の影響を受ける

- 原油価格の動向
- 基礎石油化学製品のマージン動向
- 在庫水準と後入先出法による評価損益

(億円)	'08年1-3月期 実績(B)	業績予想 (2月発表)		(上期予想との差)
		'08年上期 (A)	'08年通期	'08年4-6月期 (A)-(B)
売上高	8,775	17,500	35,000	8,725
営業利益	627	250	510	-377
経常利益	688	260	520	-428
特別損益	-1	0	0	1
当期純利益	406	160	320	-246
在庫評価の影響	-533	0	0	+533
調整後営業利益	95	250	510	155
石油部門 他	2	20	50	18
石油化学部門	93	230	460	137

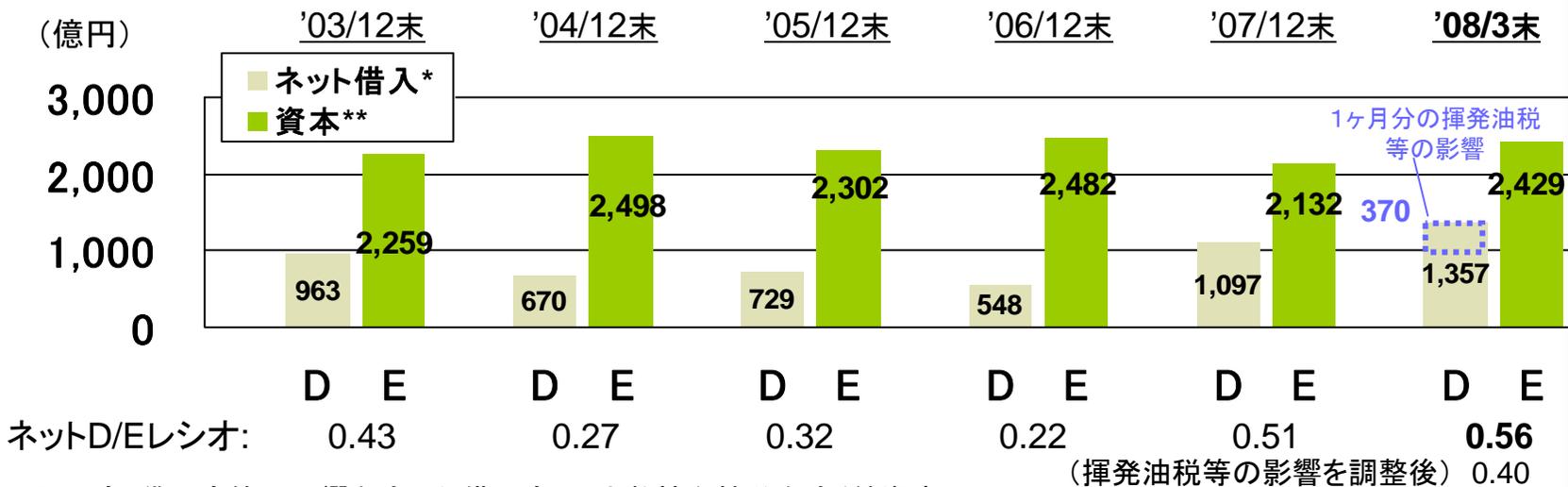
補足資料

2008年5月15日

キャッシュ・フロー、借入、資本 [連結]

(億円)

	'08年1-3月期	揮発油税等調整後	
営業活動 / 投資活動	-160	210	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健全な財務状態を維持 ■ 3月末のネットD/Eレシオは56% (12月末と同様の基準に調整した場合のレシオは40%)
税引前当期純利益	687		
設備投資額 / 減価償却費	25		
たな卸資産	-100		
売掛金/買掛金/未払揮発油税等	-722	-352	
法人税等の支払	-73		
その他	22		
財務活動	159	-211	<p>銀行営業日の関係により、1-3月期において揮発油税等を1ヶ月分多く支払った結果、ネット買掛金(買掛金+未払揮発油税等-売掛金)が370億円減少し、借入金が同額分増加</p>
借入金 の 増(減)	277	-93	
配当金の支払額	-100		
その他	-19		
現預金の増減	-1		



*現預金・貸付金等の影響を除いた借入金、**少数株主持分を除く純資産